



【素鷲小学校】

＜第3学年：地域の方と仲良くなろう＞

公民館を会場に地域の方と活動した。歴史・料理・かるた遊びに分かれて交流を深めることができた。

かるた遊びのかるたは、地域を題材に以前に小・中学生が作ったもので、子どもたちは、遊びを通して新しく地域のことを知ることができ、興味深く取り組んだ。また、活動後、かるたを素鷲地区まちづくり協議会から購入し、学校でも地域教材のかるたを使う時間を設けることで、当日かるた遊びに参加していない子どもも内容を知って地域に対する関心をもったり、理解を深めたりすることができた。



【食育教室グループ】



【かるた取りグループ】

＜第4学年：心のバリアフリー＞

学校や家庭、地域のバリアフリー調べをした後、すべての人が暮らしやすい社会にするために、自分にできることを考える学習を展開した。

松山市社会福祉協議会を通して講師の先生をお招きして福祉体験学習を行った。



【車椅子体験】



【考えたことの発表】

調べ学習や体験を通して考えたことを、タブレット端末のプレゼンテーション機能を使って資料を作成し、資料を示しながら発表した。「自分にできることは、障がい者の人に限らず丁寧に接し、その人に合った助け方をすることだ」「まずは、挨拶が一番大切。聴覚障がいがある人に出会ったら、筆談で話すなど、障がいのある人のことを思っていて過ごしたい。」などの考えをもった。相手の立場を思い、自分ができる手助けをしたいという気持ちが育った。